



2021年 9 月 30 日

各位

会 社 名 Z ホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 Co-CEO (共同最高経営責任者)  
川 邊 健 太 郎  
(コード：4689 東証第一部)  
問 い 合 わ せ 先 専務執行役員 GCFO (最高財務責任者)  
坂 上 亮 介  
(電話：03-6779-4900)

### 子会社（孫会社）の異動に関するお知らせ

当社は、2021年9月30日付で、LINE Digital Frontier 株式会社（代表取締役：金俊九、以下「LDF」といいます。）及びNAVER Corporation（President & CEO：Han Seong-sook、以下「NAVER」といいます。）との間で、当社の子会社（孫会社）である株式会社イーブックイニシアティブジャパン（代表取締役社長：高橋将峰、以下「イーブック」といいます。）の株式を非公開化することを前提として行われる一連の取引（以下「本取引」といいます。）に係る諸条件等を内容とする取引契約（以下「本取引契約」といいます。）を締結することを決定いたしました。

本取引契約に基づき、本取引が実施される結果、イーブックが当社の子会社（孫会社）に該当しないこととなり、当社の子会社（孫会社）の異動が生じる見込みとなりましたので、お知らせいたします。

#### 1. 異動の理由及び異動の方法

当社は、2021年9月30日付で、LDF及びNAVERとの間で、本取引に係る諸条件等を内容とする本取引契約を締結することを決定いたしました。

本取引は、大要、以下の各取引から構成されます。

- ① LDF は、イーブックの普通株式（以下「イーブック株式」といいます。）の全て（※1）及びイーブックの新株予約権の全てに対する公開買付け（金融商品取引法に基づく公開買付けをいい、以下「本公開買付け」といいます。）を実施する（※2）。

（※1）イーブックの発行済みの新株予約権（以下「イーブック新株予約権」といいます。）の行使により交付されるイーブック株式を含み、当社の子会社であるヤフー株式会社（以下「ヤフー」といいます。）が所有するイーブック株式及びイーブックが所有する自己株式を除きます。以下同じです。

（※2）当社は、本取引契約上、ヤフーをして、ヤフーが所有するイーブック株式について、本公開買付けに応募させない旨を合意しており、本公開買付けの前後において、当社がヤフーを通じて保有するイーブックの株式数に変動はありません。本公開買付けの詳細については、イーブックの本日付の適時開示「LINE Digital Frontier 株式会社による当社株券等に対する公開買付けに関する意見表明及び応募推奨に関するお知らせ」をご参照ください。

- ② 本公開買付けの成立を条件として、本公開買付けの公開買付け期間末日以後、決済の開始日前に、NAVER が、その子会社である WEBTOON Entertainment Inc.（以下「WEBTOON Entertainment」といいます。）(※3)への払込総額 16,049 百万円を限度とする出資を実施し、WEBTOON Entertainment がその子会社である LDF への払込総額 16,049 百万円を限度とする出資(※4)を実施する。

(※3) WEBTOON Entertainment は、本日時点において、(i)NAVER 及び(ii)当社の子会社である LINE 株式会社（以下「LINE」といいます。）が(i) : (ii)=66.6% : 33.4%の比率で出資を行う合弁会社です。

(※4) 当該出資は、WEBTOON Entertainment が自ら及びその完全子会社である NAVER WEBTOON Limited を通じて行うことが想定されているとのことです。

- ③ 本公開買付けが成立し、イーブック株式の全て及びイーブック新株予約権の全てを取得できなかった場合、イーブックの株主を LDF 及びヤフーのみとすることを目的として、イーブック株式の株式併合（以下「本株式併合」といいます。）を実施する。その後、イーブックは、本株式併合により生じる端数の合計（1株未満は切り捨て）に相当する株式につき、裁判所の許可を経た上で、かかる端数に対応する本株式併合前のイーブック株式の数に本公開買付けの公開買付け価格を乗じた金額で、LDF に対して売却する（以下「本端数処理」といいます。）。
- ④ イーブックの株主を LDF 及びヤフーのみとするための一連の完了を条件として、LDF を株式交換完全親会社、イーブックを株式交換完全子会社とし、WEBTOON Entertainment の株式を対価とする三角株式交換（以下「本三角株式交換」といいます。）を実施する。
- ⑤ 本三角株式交換の効力発生を条件として、本三角株式交換の対価としてヤフーに交付された WEBTOON Entertainment の株式を、ヤフーから当社に対して現物配当その他の方法により移転する。
- ⑥ 本三角株式交換の効力発生を条件として、WEBTOON Entertainment の株主である(i)NAVER、並びに、(ii) LINE 及び当社間の WEBTOON Entertainment への出資比率を、本公表日における出資比率（(i) : (ii) = 66.6% : 33.4%）と等しくなるように調整し、もって本取引を通じた NAVER 並びに LINE 及び当社による WEBTOON Entertainment 株式の取得が出資比率に応じた比例的なものとなることを確保するために、NAVER から WEBTOON Entertainment に対して追加出資を実施する。

本取引の結果、LDF がイーブックの親会社となり、イーブックは当社の子会社（孫会社）に該当しなくなるが見込まれます。

当社としても、本取引により、当社グループ内で並存する電子書籍事業を WEBTOON Entertainment 傘下に集約することで、グローバルに積極投資を行う WEBTOON Entertainment グループとの連携強化が可能となることに加え、同グループで培われたノウハウを活用し、複数領域の事業シナジーによる成長が期待されると考えています。

なお、後記「2. 異動する子会社（孫会社）の概要」「(1) 株式会社イーブックイニシアティブジャパン」の表記載のイーブックとヤフーとの間の電子書籍販売サービスの運営委託業務等を含む協業関係は継続予定です。

2. 異動する子会社（孫会社）の概要

(1) 株式会社イーブックイニシアティブジャパン

(1) 名称	株式会社イーブックイニシアティブジャパン			
(2) 所在地	東京都千代田区麹町一丁目12番地1			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 高橋 将峰			
(4) 事業内容	電子書籍事業、クロスメディア事業			
(5) 資本金	904百万円(2021年3月31日現在)			
(6) 設立年月日	2000年5月17日			
(7) 大株主及び持株比率 (2021年3月31日現在)	ヤフー株式会社		43.39%	
	BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)		3.53%	
	JP MORGAN CHASE BANK 385632 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)		2.33%	
	寺田 航平		2.30%	
	株式会社日本カストディ銀行(信託口)		1.74%	
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)		1.57%	
	株式会社小学館		1.42%	
	株式会社SBI証券		1.36%	
	BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)		0.89%	
	株式会社日本カストディ銀行(信託口5)		0.87%	
(8) 当社と当該会社との関係	資本関係	当社は、連結子会社であるヤフー株式会社を通じて、当該会社の総議決権の43.42%(2021年3月31日現在)に相当する数の株式を所有しています。		
	人的関係	当該会社の取締役2名、監査役1名は、当社の連結子会社であるヤフー株式会社との兼務があります。また、ヤフー株式会社から当該会社へ従業員を出向させています。		
	取引関係	当社の連結子会社であるヤフー株式会社と当該会社との間に、電子書籍販売サービスの運営委託業務等の取引があります。		
(9) 当該会社の最近3年間の業績	決算期	2019年3月	2020年3月	2021年3月
	純資産(百万円)	3,400	3,800	4,473
	総資産(百万円)	7,202	8,971	11,481
	1株当たり純資産(円)	600.07	669.90	788.23
	売上高(百万円)	14,786	21,281	29,951
	営業利益(百万円)	583	793	957

経常利益(百万円)	593	795	956
当期純利益(百万円)	166	544	663
1株当たり当期純利益(円)	29.80	97.54	117.79
1株当たり配当金(円)	-	-	-

### 3. 異動日

本公開買付けの結果を踏まえ、本公開買付けの決済開始日（2021年11月22日を予定）又は本端数処理の完了日（2022年1月頃を予定）に子会社の異動が生じることになります。具体的な日程等が確定次第、別途お知らせいたします。

### 4. 今後の見通し

当該子会社の異動が当社の連結会計年度の連結業績に与える影響は軽微であります。今後、開示すべき事項が発生した場合は、速やかに開示いたします。

以 上

（参考）当期連結業績予想（2021年8月3日公表分）及び前期連結実績

	売上収益	調整後 EBITDA
当期連結業績予想 (2022年3月期)	1,520,000~1,570,000 百万円	303,000~313,000 百万円
前期連結実績 (2021年3月期)	1,205,846 百万円	294,837 百万円